

インフルエンザピークシーズン到来！



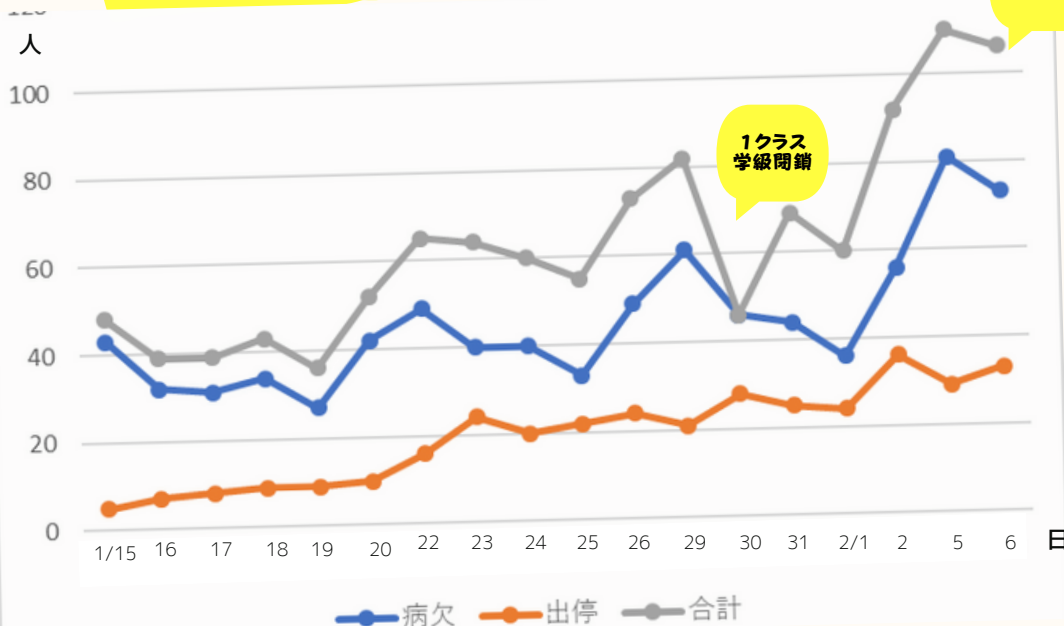
例年、1月の中旬から2月上旬にかけては、小学校のインフルエンザのピークシーズンです。今年の仲町小は、9月から流行し始め、2学期の間中だらだらと散发し、いつもの年とは違う様子でしたが、寒くなっていよいよ感染者が増加しています。加えてコロナの報告数もじわりじわりと増え始めています。

解熱後に念のため受診し検査を受けたら、出席停止の感染症だったことが分かったケースや、登校前は元気だったのに、午前中に高熱で早退するケースなどがあり注意が必要です。

学校医の先生からは、37.5℃以上の発熱が見られた時には、翌日解熱していても体調をしっかりと観察していただき、可能であれば自宅で休養して経過を観察すると良いこと、また朝念入りにお子様の様子を観察し、いつもと違う(睡眠や食事を含む)様子があるときは登校を見合わせると良いことをアドバイスしていただきました。



仲町小欠席状況



1クラス
学級閉鎖

1クラス
学級閉鎖

週の推移でみると...

1/15~19
病欠:167人
出席停止:38人

1/22~26
病欠:211人
出停:106人

1/29~2/2
病欠:243人
出停:134人